

編集後記

本水委員長の巻頭言にありますように、日本分析化学会フローインジェクション研究懇談会 (JAFIA) 及び Journal of Flow Injection Analysis (JFIA) は創立 20 年を迎えました。JFIA, Vol. 20 号は記念号として発刊されました。Prof. Gary D. Christian からは“Happy Twentieth Anniversary”のメッセージをいただきました。Prof. Christian には JAFIA の発展に快く協力していただき、特に ICFIA (International Conference on Flow Injection Analysis) とのジョイント開催の提案は JAFIA の国際的活力となっております。心温まるメッセージに感謝します。また 20 年の歴史を切り開いていただいた故石橋信彦先生を始め、参与の先生方に感謝いたします。山本秀雄氏 (元 (株) 日立) から JAFIA と JFIA の歴史を記したパーソナルレビューの投稿をいただきました。歴史の重みを感じ、過去の思い出に浸りながら拝読させていただきましたが、貴重な資料として残すことができました。20 年を契機に会員のニーズに応じて新設欄「解説」を設けました。毎号 2~3 人に執筆をお願いしますが、今号は「酵素反応」をテーマとしてわかり易く解説してもらいました。投稿論文も増えております。特に外国から、また国内からも英文論文の投稿が多くなっております。殊に国内からはオリジナル性の高い論文の投稿をいただいております。編集委員を始め多くの会員の方々に審査をお願いしておりますが、丁寧に対応していただき有難く思っております。JFIA は唯一の FIA ジャーナル

として認知されつつある証と思っておりますが、今後は良質な論文掲載を目指していきたいと願っております。

Flow Analysis 9 が Geelong, Australia で 2 月 17 ~22 日に開催されましたが、その様子を実行委員長の Dr. Ian McKelvie と田中秀治先生 (徳島大) にお願いました。「お知らせ」をしましたが、No. 2 には「ミニレビュー」を募集します。ご自分の専門分野を簡潔に纏めてご投稿ください。2nd Circular を掲載しましたが、12 月 7~13 日の予定で 12th ICFIA が Merida, Venezuela で開催されます。多くの方々の参加を希望します(ツアーを組む予定です)。

現在編集委員長を酒井が務めておりますが、先回の編集委員会で今年度から編集委員長 (Editors) を二人制にし、今任稔彦先生 (九州大院工) に加わっていただくことになりました。従いまして、投稿論文はどちらかにご送付ください。また編集委員会強化のため新委員として川久保 進先生 (山梨大工) に加わっていただくことになりました。バリバリの FIA 研究者です。期待しております。

20 年目を迎えた JFIA ですが、国際的にも評価される Journal として飛躍することを願っておりますが、このカギは会員の皆様の協力が不可欠です。積極的なご意見をお寄せください。

JFIA 編集委員長
酒井忠雄